

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ★家庭学習と読書推進のポイントって？★

☆☆☆ このメルマガの内容とは？ ☆☆☆

このメールマガジンは、教育振興運動全県共通課題（「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」）の推進にあたり、実践事例の紹介や意見交流を行うために、各実践区事務局、県内小中学校、市町村教育委員会、県内指導主事・社会教育主事、そのほか関係者の方々に送信しているものです。

< 目 次 >

- 1 【メルマガ紹介】 平成 22 年度の始まりにあたり
 - 2 【教振は今】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【みんなの声】 ペっこ言い隊
 - 4 【編集後記】 あつしのひとりごと
-

1 【メルマガ紹介】 平成 22 年度の始まりにあたり

平成 22 年度がスタートしました。新たな出会いの中、子どもたちは希望に胸を膨らませて新学期を迎えたことでしょう。新年度のスタートは、取組をリセットする絶好の機会です。「鉄は熱いうちに打て」のとおり、最初が肝心です。

岩手県の子どもたちが「家庭での学習や読書の時間が短く、テレビ等の視聴時間が長い」という実態を踏まえ、県教育委員会では、昨年度より「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」を全県共通課題とし、各学校の「まなびフェスト」を家庭や地域が支援する体制づくりに取り組むことを提唱しています。

皆さんの学校・地域の子どもたちの実態は、いかがでしょうか。毎年 10 月に実施している学習状況定着度調査の結果を見れば、各学校の実態がわかると思います。実態を把握したうえで、学校や P T A、教振実践区等において、全県共通課題に是非取り組んでいただきたいと思います。

このメールマガジンは、「家庭学習」と「読書活動」の大切さを皆さんとともに考え、全県共通課題を進めるにあたって参考となるような実践事例を紹介するために、平成 21 年 7 月より、毎月第 2・4 火曜日に配信しているものです。

必要な部分を学校の校報・学年通信・学級通信や P T A 広報等に転載するなど、より多くの保護者・地域の方に読んでいただくように活用していただきたいです。直接、配信を希望される方の申込も随時受け付けています。

(1) 平成 21 年度配信のバックナンバー（第 1～17 号）はこちら

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

- (2) 平成 21 年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちら
⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index3.html>
(5) 直接、個人への配信希望はこちら
⇒ 21kyoushin@gmail.com
-

2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

- (教ちゃん) みなさ～ん、私たちのポスターを見てくれましたか？
(振ちゃん) 新学期になって、県内全小中学校と市町村の社会教育関係施設に一斉に貼り出してもらったんだよね。
(教ちゃん) だって、「全県共通課題」のことでテレビ出演したのに、まだまだ私のことを知らない人がいっぱいいるんだもの。もう・・・。
(お父さん) そんなこと言うもんじゃないぞ。教ちゃん。
(教ちゃん) あっ、お父さん。
(お父さん) 小中学校の廊下にも張り出してもらっているから、これから小・中学生の皆さんの人気者になるかもしれないぞ。
(お母さん) そうよ。家族 4 人がそろった「全県共通課題」のロゴマークも作ったから、これから、いろんな場面で皆さんにお会いすると思うわ。皆さん、私のこともよろしくね。
(振ちゃん) お母さん、僕たちより目立っちゃダメだよ。
(教ちゃん) よ～し。今年こそ、ふじポンにもお母さんにも負けないわよ～！
(お父さん) その調子だ、教ちゃん。今年も頑張ろうな。
-

3 【みんなの声】ぺっこ言い隊

いつも楽しく拝見しています。
最近、子どもに聞かれて答えられなかった事例があるので、何かいいアドバイスはないかと思い、メールしました。

それは新聞についてです。今度 4 年生になる子どもが「お父さん、新聞は何歳になったら読まなきゃいけないの？」とのこと。ちょっと返答に困りました。テレビ欄はいつも見てみたいだし、かと言って政治の話も難しいだろうし…。

上の娘が 5 年生の時、夏休みの宿題として、毎日、新聞にはさんであるチラシを種類別に枚数を数え、木曜日や金曜日は週末客を当て込んでチラシの枚数が多いとか、〇〇屋のチラシは〇曜日が多いとか、そんなことをやったことはありますが、新聞そのものについては考えたこともありませんでした。

子どもに楽しい新聞との付き合い方をどう教えたらいいか、いい事例が合ったら教えてください。
(H 町 C さん)

⇒ 「いつから」ということを意識する必要はないと思います。父親が、世界の情勢を語る家庭の子どもは、世界の動きに興味を示し、スポーツを語る家庭親の子どもは、スポーツに興味を示すでしょう。語るひとつのツールとし

て、父子で新聞を広げながら、「どう思う？」と問いかけていけば、自然と子どもも新聞に目を通すように育っていくのだと思います。

子どもは、父親を通して“社会”を見る目を育てていくのだと思います。まず、親が新聞を読む姿を見せること。そして、社会事象についての子どもなりの考えを引き出しながら、親子で一緒に考えていくと、新聞というメディアに興味を持つ子どもに育つのではないのでしょうか。

メルマガの感想や日頃思っていることをどんどんお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

4 【編集後記】 あつしのひとりごと

最近、県内で活躍しているスクールカウンセラーが新聞に寄稿した記事を読んで、ハッとしました。「大人の私たちだって、何でもできる完璧な人はいない。今の自分に至るまでだって、ウン十年かかっている。それなのに子どもたちは、勉強でもスポーツでも、何でも“できる”ことが求められている。もっとゆっくり見守ってあげる必要があるのではないか。」という内容でした。

結果より過程が大切だということは、頭ではわかっています。しかし、“できる”ことを求め、“できない”とガミガミと言ってしまうことって、多いですね。自分の“できない”は棚に上げっぱなしで、反省させられました。

今年度も、教振メルマガをよろしくお願いします。

⇒ 第19号は、4月27日（火）配信です。

★教育振興運動の資料・「教振メルマガ」のバックナンバーは、こちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

★このメールへの感想、ご意見・ご要望は、こちらまで。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

★子育てに迷ったら、ひとりで悩まず「子育ていわてケータイサイト」に。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kt-shien/>

～～～配信元～～～

* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

⇒ 学校新聞の裏面に掲載しての各家庭への配布、回覧板を使つての自治会・子ども会への回覧も大歓迎です！

～～～